

# 海外の大学と連携した国際遠隔講義

高良富夫<sup>\*1</sup>, 久保田恵子<sup>\*2</sup>, 庄司博光<sup>\*2</sup>,  
大川康治<sup>\*2</sup>

\*1 琉球大学学長補佐 (前・総合情報処理センター長)

\*2 琉球大学総合情報処理センター

# これまでの経緯と今後の予定

平成17年：ハワイ大学を中心に7機関の国際遠隔講義  
API(Asia Pacific Initiative)へ参加

平成17年度計画の中で、**琉球大学でもっと  
もユニークな活動に**

平成18年：国際遠隔講義2クラス

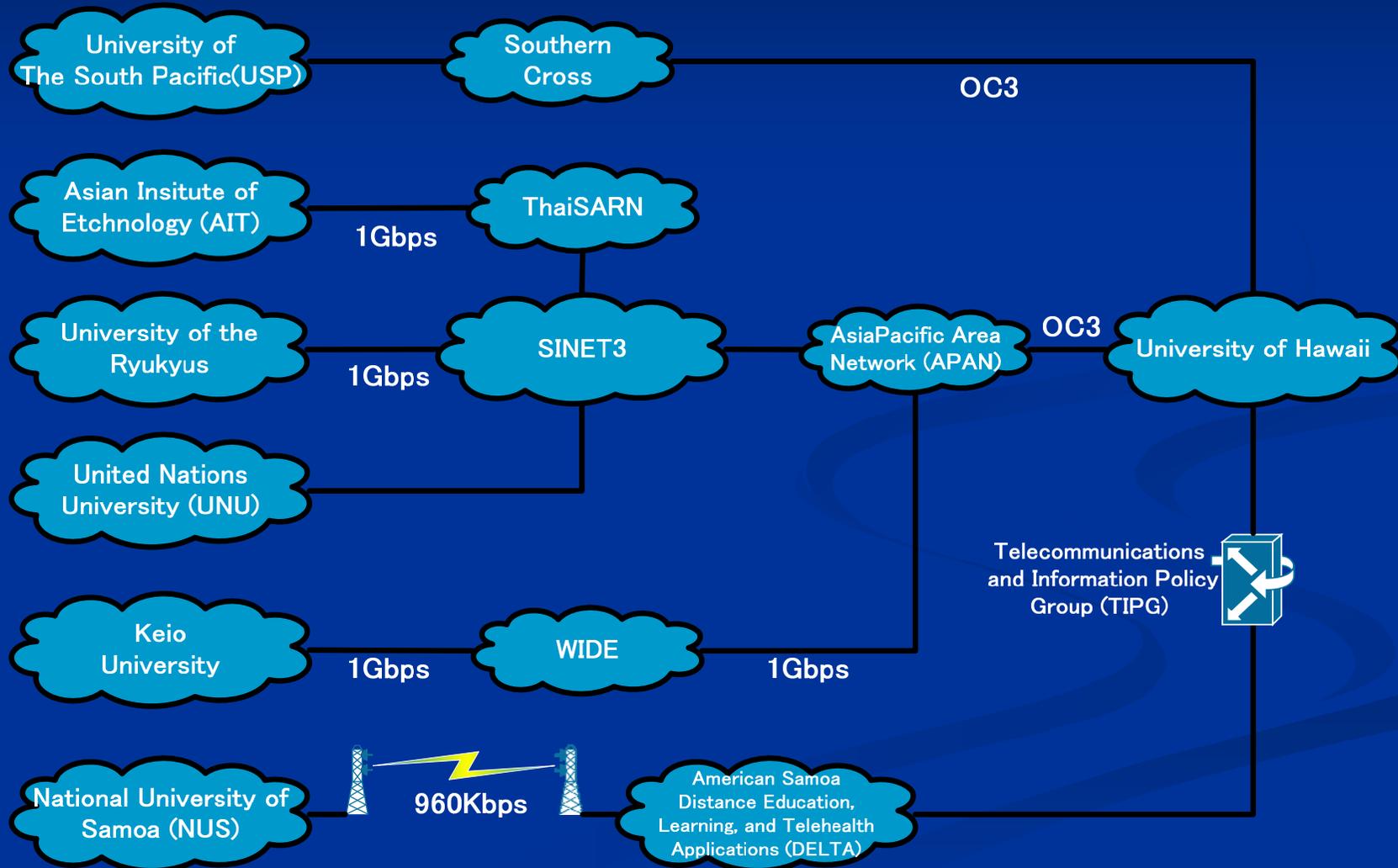
平成19年：国際遠隔講義2クラス、**太平洋学術会議へ  
の協力**

平成20年：国際遠隔講義3クラス(予定)

# API 参加機関の紹介

- ハワイ大学 University of Hawai'i
- 国際連合大学 United Nations University
- 慶応大学 Keio University
- アジア工科大学(タイ) Asian Institute of Technology
- サモア国立大学 The National University of Samoa
- 南太平洋大学(フィジー)  
The University of the South Pacific
- 琉球大学 University of the Ryukyus

# ネットワーク概要



# 平成17年(2005年)度の 講義の内容 など

- 対象：研究者・学生
- テーマ：環境の研究に関するもの
- 期間：2005年9月30日-2006年1月20日、全14週間
- 時間：毎週金曜日、午後1時-3時(日本時間)

# 7機関合同国際遠隔講義

- テーマ: 国際環境研究、自然災害
- 琉球大学・嘉数副学長  
ハワイ大学・Cristina Higa先生
- 琉大側講師: 理学部・土屋教授、松本教授  
工学部・堤教授、仲座教授
- 琉球大学側コーディネータ:  
総合情報処理センター長 高良教授  
国際交流課金城さん

# 平成18年(2006年)度の 講義の内容 など

- 対象: 研究者・学生
- テーマ: 環境の研究、自然災害に関するもの  
(国際環境学、災害管理及び人道援助)
- 期間: 2006年9月28日-2007年2月3日 全14週間
- 時間: 毎週木・金曜日、午後1時-3時(日本時間)

# 平成19年(2007年)度の 講義の内容 など

- 対象: 研究者・学生
- テーマ: 環境の研究、自然災害に関するもの  
(国際環境学、災害管理及び人道援助)
- 期間: 2007年9月27日-2008年1月18日 全14週間
- 時間: 毎週木・金曜日、午後1時-3時(日本時間)
- **単位認定**が理工学研究科から

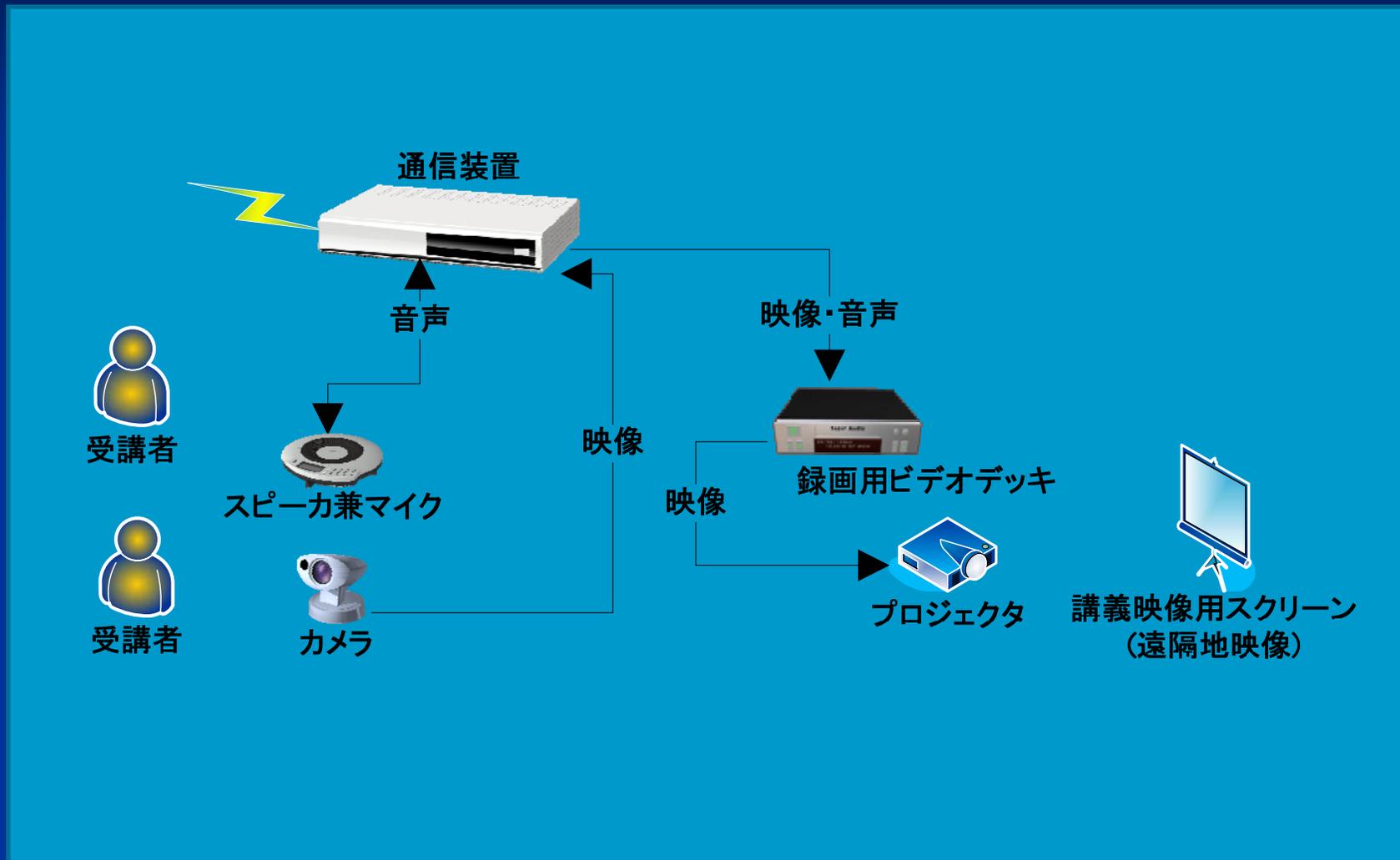
# テレビ会議システムでの講義

- 解像度は、アナログテレビと同程度  
資料やスライドを明瞭に表示できない
- 事前にLMS(ハワイ大学のMoodleを利用)に  
資料やスライドをアップロードし、受講者に配布
- テレビ会議システム+LMSの利用で  
通常の教室における授業と  
ほぼ同様なことが可能

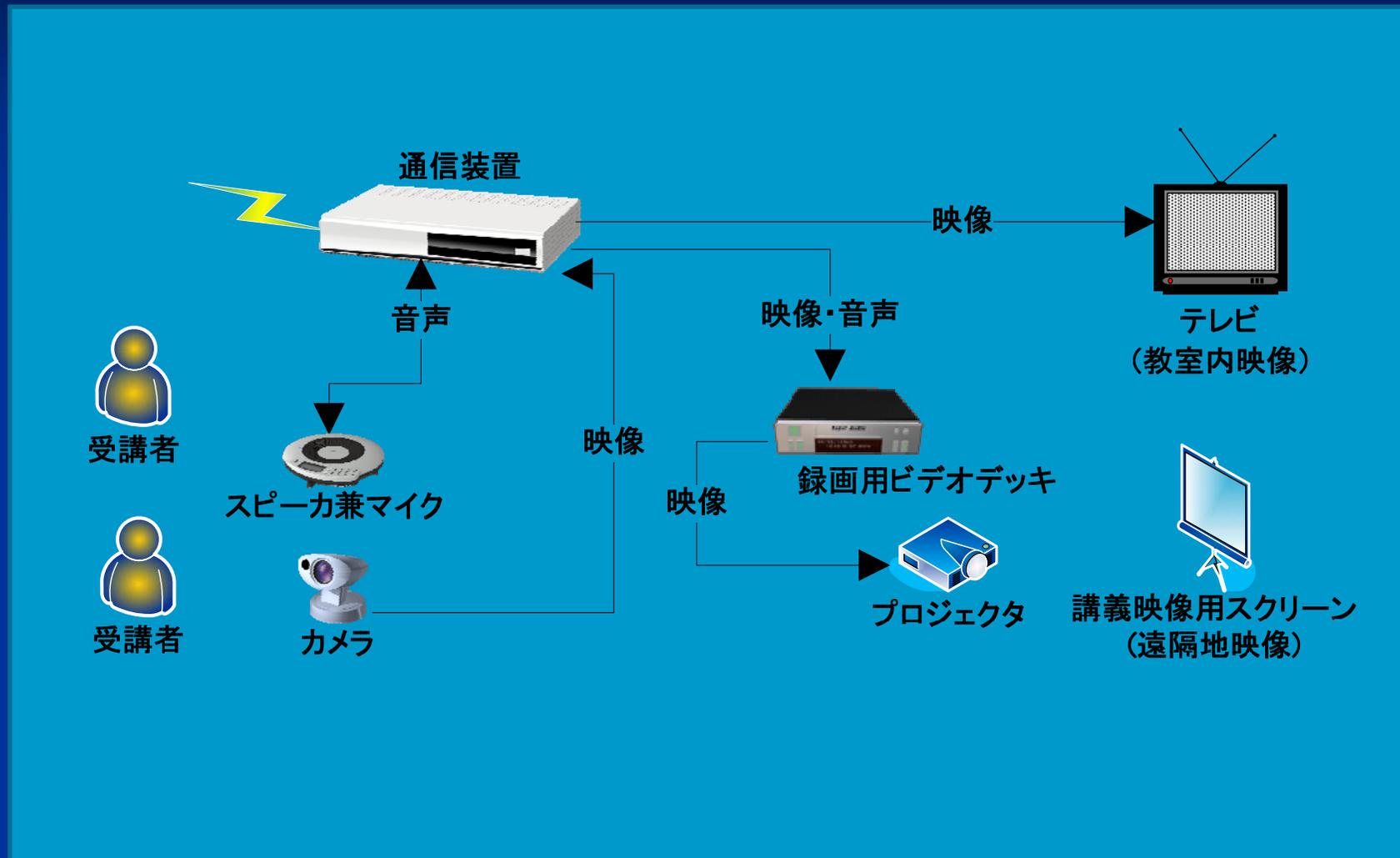
# テレビ会議システムのサポート

- 受講生に準備と操作を依頼  
事前に20～30分程度の説明を行う
- 17年度の講義初回にエコーによるトラブル  
マイクのオン・オフを適切に行うことで回避

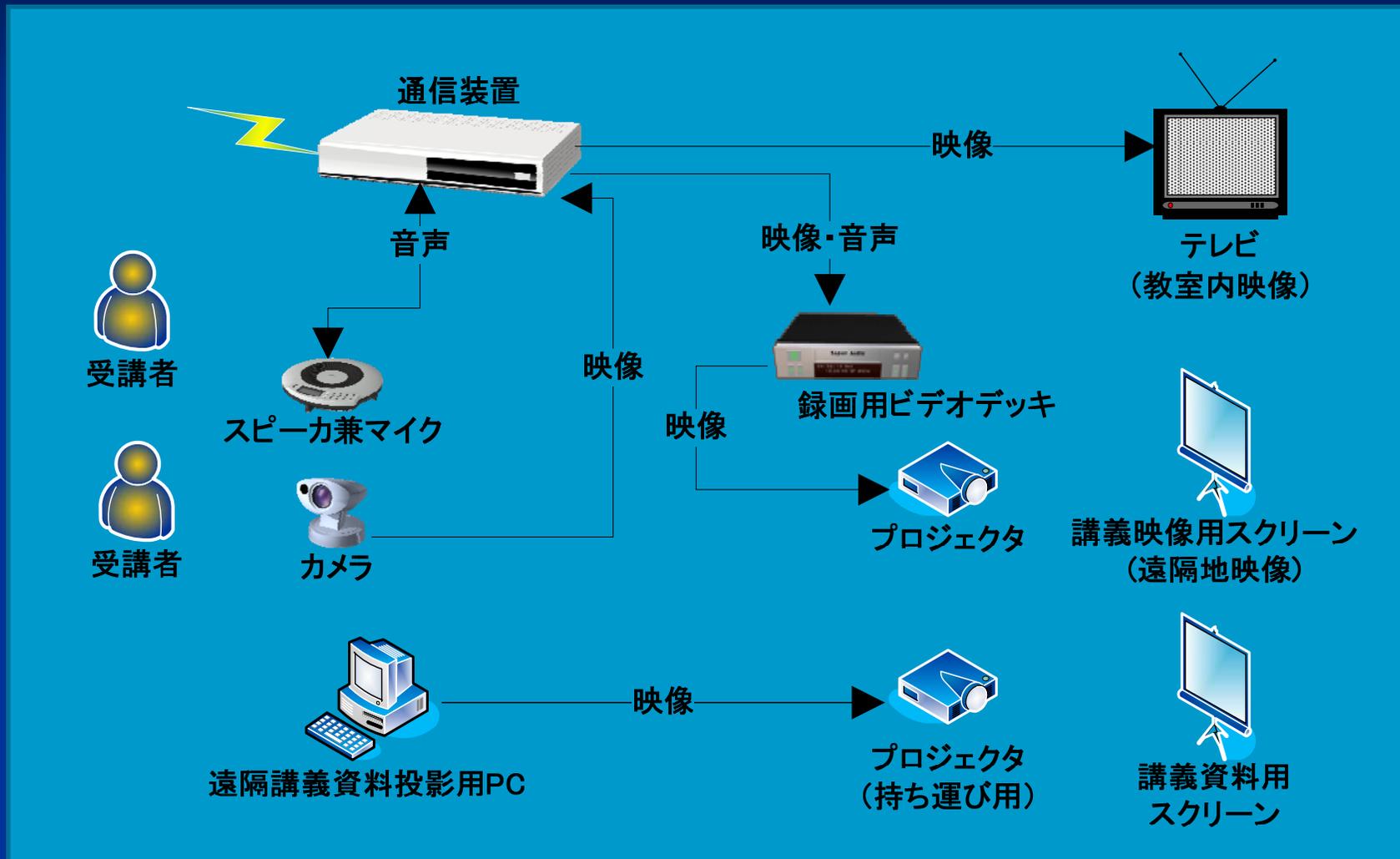
# 初期(2005年)頃の受講時配置 I



# 初期(2005年)頃の受講時配置Ⅱ



# 2006年以降の受講時配置



# 遠隔講義受講風景





# 遠隔講義配信風景



# 琉球大学の機器構成

- Sony社製 PCS-G70S
- Sony社製 スピーカー体型マイク CTE-600
- プロジェクターとスクリーン 2セット
- テレビ

# 遠隔講義の ポスター



## Asia Pacific Initiative

Advanced Seminar in International Environmental Studies:  
An International Multi-Institutional Pilot  
of the Asia Pacific Initiative

*Collaborating Partners:*

- Asian Institute of Technology, Pathumthani, Thailand
- University of Hawai'i, Honolulu, Hawai'i, U.S.A.
- United Nations University, Tokyo, Japan
- Ryukyus University, Okinawa, Japan
- Keio University, Tokyo, Japan
- University of the South Pacific, Suva, Fiji
- National University of Samoa, Apia, Samoa

*Participating Institutions:*

- Asian Development Bank, Manila, Philippines
- East-West Center, Honolulu, Hawai'i, U.S.A
- Research Institute for Subtropics, Okinawa, Japan



# 考察

- 多機関の協力が可能で効果的
- 各機関における単位認定のための枠組みづくり
- 各機関のレベルの確認の必要性
- 相互作用を行うためのノウハウ作り
- ネットワーク、LMS、システム、講師は経済的である
- 参加者にとって、学習の高度化と異文化経験の貴重な機会